

# 教育・研究DXとオープンイノベーションによるデータ生成とその活用

## ～DXによる新しい教育・研究開発を通じて企業成長を実現！～

つい数年前に本格稼働した極端紫外線(EUV)露光による半導体集積回路の高密度化は、ビッグデータの活用を現実化するものとなり、猛烈なスピードでDX化が進行しています。

研究現場も例外ではなく、特に海外において論文生産活動が大きく加速しています。それを受けて、論文化前のデータ活用をどのようにするかというルール作りや、データ管理プラットフォームの構築が進んでいます。こうした中で研究設備開発やその活用も、まさに異次元の新概念で語られつつあります。

本企画では、その新しい世界にどう参入するか、これまでデータサイエンティストが語ってきたものとは違う角度、つまり、従来の研究現場や教育現場からの取り組みとの新結合の可能性を紹介します。



日時

2024年 **1月18日(木)** 14:00～16:30

参加費  
**無料**

会場

Zoomを利用したオンライン配信

対象

ものづくりに携わる企業・個人事業主、  
研究開発機関、行政機関等の方

●加申込みはこちら



金沢大学の研究設備を利用した産学連携と  
そのデータ活用による地域貢献を目指して

第1部 講師：長井 圭治 氏

(金沢大学 先端科学・社会共創推進機構  
特任准教授)

研究機器の高性能化、ハイスループット化により、研究設備を共同利用する動きが大学においても本格化してきた。こうした設備からは、以前とは異次元の莫大な情報が得られており、この活用はバイオDXやグリーンDX推進の源となっている。本講演では、その背景から実際の活用例、これまでに縁のなかった方の参入方法について述べる。

GIGAスクール構想と新学習指導要領で変わる  
中等教育とリカレント教育のあり方

第2部 講師：小坂 英洋 氏

(遊学館高等学校 教諭)

GIGAスクール構想、新学習指導要領が来年度までに中等教育で実施完了し、同時に推進されている教育DXにより、児童生徒・教員は何ができるようになってきているのか。大学や企業はこれらの変化に対応できるのか、そのヒントとなる高校現場の現状、そしてリカレント教育に代表される再教育プログラムへの影響も考える。

「学ぶ意欲（非認知能力）を育むICT活用」  
～Society5.0の社会と教育～

第3部 講師：松田 孝 氏

(合同会社MAZDA Incredible Lab CEO、  
総務省地域情報化アドバイザー、  
金沢市プログラミング教育ディレクター)

Society5.0の社会。コンピュータテクノロジーによって社会の在り方が激変する中、その形成者となる子供たちに求められる資質・能力を考察する。主体性をもって非中央集権的ネットワークを生き抜く非認知能力の育成が肝要となる。この非認知能力を育むための方途（自己評価と共感的理解）を、学校現場で紡ぎあげた実践知によって明らかにする。

## 講師プロフィール

### 長井 圭治 (ながい けいじ) 氏

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任准教授

大阪大学助教、東京工業大学准教授を経て2021年より現職。人工太陽と人工光合成の両方を目指した研究に従事した。現在、大学の設備共同利用、地域ネットワーク、リカレント教育、データエコシステムを担当。

### 小坂 英洋 (こさか ひでひろ) 氏

遊学館高等学校 教諭

1994年より遊学館高等学校教諭、情報科主任。2020年より教務部長。eスポーツ部・インターアクト部・パソコン部顧問。学校内におけるICT教育・整備全般を担う。CASIOパートナーティーチャー。

### 松田 孝 (まつだ たかし) 氏

合同会社MAZDA Incredible Lab CEO、総務省地域情報化アドバイザー、金沢市プログラミング教育ディレクター

東京学芸大学教育学部卒業後、東京都公立小学校教諭、指導主事、主任指導主事、校長3校を歴任（東京都小金井市立前原小学校等）。その間に上越教育大学大学院修士課程修了、早稲田大学後期博士課程任意退学。

## 「先端ものづくり技術交流セミナー(第2回)」参加申込書

|     |    |    |        |
|-----|----|----|--------|
| 企業名 |    |    |        |
| 所在地 | 〒  |    |        |
| TEL |    |    |        |
| 参加者 | 役職 | 氏名 | E-mail |
|     |    |    |        |
|     |    |    |        |

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請  
②E-mail または FAX(076-240-1903)による申請  
のいずれかによりお申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局  
金沢市異業種研修会館 担当 中上  
TEL:076-240-1934  
FAX:076-240-1903  
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和6年1月15日(月)

申込方法等の詳細は、Webサイト

「金沢市産学連携  
ネットワーク」  
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク